

5年8カ月を経て神殿復旧

木山神宮神殿災害復旧事業 しんこうほうしゅくさい 竣工奉祝祭

木山神宮で12月22日、熊本地震で被災し復旧した神殿(町重要文化財)の竣工奉祝祭が執り行われました。

神事には関係者や地域住民など約70人が参加。熊本地震後に京都から伝わった「益城復興獅子舞」や神楽が奉納され、復旧のお祝いに花を添えました。宮司やだの矢田吉定よしたださんは、「長い道のりだったが第1歩を踏み出した。これからも町の復興のシンボルとして再建を進めていきたい」と話しました。

なお拝殿は、4月から建設が始まる予定です。



復元した神殿の前で益城復興獅子舞



贈呈式に出席した皆さん。前列の左から2人目が岩貞投手

思いがこもった道具でプロを目指す

プロ野球選手が町内少年野球チームに野球用品を贈呈

12月27日、プロ野球阪神タイガースの岩貞祐太投手いわさだゆうたが役場仮設庁舎を訪れ、町と町内少年野球チームにバッティングティースタンドなどの野球用品を贈りました。

これは、熊本市出身の同投手が、復興支援として平成29年から行っているもので、贈呈に当たり「益城町からプロ野球選手が誕生することを期待しています」とあいさつ。少年野球チームを代表して贈呈式に出席した、益城中野球部の田上大登主将たのうえやまとは、「復旧したグラウンドで、頂いた道具を使用して頑張ります」とお礼を述べました。

益城町から世界へ

映画「われ弱ければ やじまかしこ 矢嶋椋子伝」試写会

町文化会館で1月9日、映画「われ弱ければ 矢嶋椋子伝」の試写会が行われました。

上映前の舞台あいさつには、矢嶋椋子を演じた主演の常盤貴子ときわたかこさんと山田火砂子監督やまだひさこが登場。常盤さんは「椋子さんを見習って、益城町から1人でも多くの方が世界に羽ばたいていきますように願っております」、山田監督は「原作を読んだ時、こんなすごい人が世の中にいたのかと驚きました。必死になって作った映画です」など、映画にかける熱い気持ちや完成の喜びを語りました。



舞台挨拶をする常盤貴子さん(左)と山田火砂子監督

Pickup Plus+
今月のプラス



12月27日～29日にかけて、益城中と木山中の生徒36人が子ども民生委員として高齢者宅を訪問し、地域の見守りを行いました。益城中2年の菅野裕那さんすがのゆな(広崎2町内)は、「頑張っってねと声を掛けてくださり、私も元氣をもらいました」と笑顔で話しました。